

経 営 概 要

令和4年度

鹿沼市立南摩小学校

1 教育目標と経営方針

(1) 教育目標

『夢や希望に向かって学び、健康で心豊かな子どもを地域と共に育成する』

元気ががんばる子 思いやりのある子 進んで学ぶ子

① 目指す児童像

- ・元気な心と体をもち、全力で取り組む子
- ・互いのよさを認め合い相手の気持ちを考えて行動する子
- ・よく考え、学び合う子

② 目指す学校像

「一人一人の児童が輝く、楽しい学校」

(2) 学校経営の方針

学校教育目標の達成を目指して、全教職員で協働し、創意に満ちた学校経営を推進する。

- ① 児童が安全に安心して活動できる教育環境づくりと危機管理体制の整備を通して、児童の生命や人権が守られる、児童はもとより保護者や地域にとっても、安心・安全な学校づくりを推進する。
- ② 児童一人一人に寄り添い、それぞれの良さや可能性を伸ばしていくために、保護者や地域と協働しながら、最善を尽くす信頼される学校づくりを推進する。
- ③ 多様な他者との関りを通して、自己肯定感や自己有用感を高める教育活動を実践し、児童にとって楽しく居がいのある学校づくりを推進する。
- ④ 「誰もが、分かる・できる喜びを味わえる授業」の実践と、地域のよさを生かした豊かな体験活動の実践を通して、確かな学力を身につけることができる、児童にとって、行きがいのある学校づくりを推進する。
- ⑤ 地域の教育資源を積極的に活用し、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。

(3) 本年度の努力点

＜元気ががんばる子＞

① 自分の命を自分で守る力の育成 ⑤

- ・安全管理、生活安全指導の徹底
- ・交通安全指導の徹底
- ・避難訓練の充実と危険予測、回避能力の育成

② 基礎体力向上と健康教育の充実 ⑤

- ・外遊びの奨励（共遊の実施）
- ・教科体育の質的向上と体力向上月間を活用した体力向上と運動習慣づくり
- ・地域と共に行う食育の推進（給食指導・地域食材の活用と食材の生産） ① ◎
- ・健康的な生活習慣定着のための健康指導の充実（感染防止に関する指導、歯の衛生管理に関する指導、性教育、薬物乱用防止教室の実施・睡眠とメディアとの付き合い方に関する指導等）＜小中で一貫して取り組む教育活動＞

＜思いやりのある子＞

② 自己肯定感を高め、思いやりの心を育てる教育の充実

- ・学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実 ④
- ・自他の大切さを認める人権教育の充実 ⑧
- ・自己有用感を高める特別活動の充実⑥
- ・認め合い活動の充実

④ 豊かな人間関係づくり⑥

- ・あいさつの励行徹底＜小中で一貫して取り組む教育活動＞
- ・学級経営の充実⑥
- ・ピア・サポート活動の推進
- ・多様な他者と関りながら学ぶ豊かな体験活動の推進 ① ⑪

⑥ 一人一人に寄り添った自立への支援 ⑦

- ・的確な児童の実態把握（各種調査の実施と分析）
- ・児童の願いの把握（よろしくお願いシートの活用）
- ・個に応じた適切な対応（家庭、関係機関との連携）

＜進んで学ぶ子＞

⑦ 確かな学力の定着 ②

- ・誰もが「わかる・できる喜びの味わえる授業」の展開（学校課題の推進）
～インクルーシブ教育の実現に向けた授業づくり～

- ・学業指導の充実<小中で一貫して取り組む教育活動>
- ・読書活動の推進
- ・外国語・外国語活動の充実 ③
- ⑧ 主体的・対話的な学び合いの実現 ②
 - ・「聞く」ことを大切にした指導の実践
 - ・自分の考えを伝え合う場の設定と工夫
 - ・学び合いの場の設定と工夫（学校課題の推進）
- ⑨ ICTを活用した学びの推進 ⑨
 - ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進
 - ・情報モラル教育の推進
 - ・教職員研修の充実

<下支えするもの>

- ⑨ 学級経営の充実と個に応じた特別支援教育の充実 ⑥ ⑦
 - ～互いに違いを認め合い、所属感を高める学級経営～ インクルーシブ教育的視点
 - ・学習指導の基盤づくり～安心して生き生きと学べる親和的な学級集団づくり～
 - ・心の教育の充実 ～互いの違いや良さ、成長を認め合える学級集団づくり～
 - ・学習指導の充実 ～学び合い、互いを高めていける学級集団づくり～
- ⑩ 研修の充実
 - ・学校課題の推進
 - ・現職教育（一般研修・学校課題）の質的向上
 - ・教職員評価制度による目標設定、実践と評価
- ⑪ 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 ◎ ① ⑪
 - ・地域と共に行う食育の推進
 - ・地域の教育資源や隔週環境を活用した総合的な学習の時間の充実
 - ・小中での一貫した教育活動の推進
 - ・保小連携の推進 ⑩

(4) 地域及び児童の実態

○地域の実態

鹿沼市の南西部に位置し、旧南摩村南部の西沢・佐目・油田・下南摩からなり、山と川と緑の自然に恵まれた地域である。以前は米作りを中心にした農村地帯であったが、現在は旧市内や木工・工業団地等に通勤する家庭が増えている。住民の学校教育に対する関心は高く、学校に協力的である。南摩ダム工事のため大型車の往来が多く、登下校は見守りボランティアとの連携を図った安全指導を実施している。

○児童の実態

児童は明るく素直で小動物や草花をかわいがる児童が多い。異学年の友達とも分け隔てなく遊ぶことができる。教職員に対する信頼も厚く、学校へ行くのが楽しいと感じている児童が多い。物事に対して受動的な児童が多く、「自分の夢や希望を叶えるための5つの力」を身につけようと、主体性・対話力・寛容な心・活用力・あきらめない心の5つを本校の育てたい資質・能力・態度とし、その育成に努めている。

2 学校の努力する課題

誰もが、「分かる・できる喜び」が味わえる授業づくりの工夫
～インクルーシブ教育の視点に立ったきめ細かな支援と指導の在り方～

3 特色ある教育活動

(1) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

- ① 地域と共に行う食育の推進
- ② 地域の教育資源や学習環境を活用した総合的な学習の時間の充実
- ③ 小中での一貫した教育活動の推進
- ④ 幼保小連携の推進

(2) インクルーシブ教育の実現に向けた授業づくりの推進

